



## 一般社団法人日本発達心理学会第33回大会ご案内

2022年3月5日(土)～7日(月)  
<https://www.jsdp.jp/jsdp2022/>

参加・発表・企画申込と原稿投稿の  
め切が同時で10月24日です！

### ご挨拶

多様性の時代の発達・教育・学校について考える

日本発達心理学会第33回大会の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。本大会は東京学芸大学が開催校として運営に携わせていただきます。コロナ禍終息の見通しが不透明であり、参加者の感染リスクを回避するために慎重を期し、本大会も前大会と同様にWeb開催とすることとなりました。前大会ではWeb形式による新たな大会の開催の可能性が模索され、オンデマンドでのコンテンツ配信にとどまらず、インタラクティブなオンライン大会のスタイルが開拓されました。そのような点で、Web開催は大会開催の新たな形態を切り拓くという生産的な側面もあったように思います。本大会でも前大会の経験やノウハウを引継ぎ、Web開催のメリットや可能性をさらに発展させられたらと考えております。

コロナ禍は、人を対象とした研究の実施を難しくしました。多くの先生方がご苦労されていることと思います。しかし、そのような状況において、研究のレジリエンスとでもいふべきものが試されているのかもしれませんが。コロナ禍は新しい生活、教育、労働の様式をもたらしましたが、研究も同様ではないでしょうか。困難な状況下で、人を対象とする研究をいかに弾力的に行うか。そのような取り組みの中から生まれる新しい発想もきっとあるはずです。

さて、本大会の開催校である東京学芸大学は教員養成を主なミッションとしています。大学院は教職大学院と修士課程からなり、特別支援教育や幼児教育は教職大学院に、学校心理や臨床心理学は修士課程に位置づいています。教職大学院のスローガンは理論と実践の往還です。それは心理学研究において古くて新しいテーマでもあります。また、本学は附属学校も多数抱えています。学校は子どもたちが多くの時間を過ごし文化が継承される現場であり、発達と教育の問題はその場を離れて論じることにはできないでしょう。本大会では本学や附属学校などで発達心理学やその関連領域の研究や教育実践に携わる多くの教員が開催に関わっています。心理学の基礎研究や特別支援教育などに領域横断的に関わる教員が多いことも本学の特徴です。

多様性(ダイバーシティ)というキーワードは、近年、頻繁に取り上げられるようになりました。しかし、まだ理念が先行しており、心理学的な研究はこれからの課題と言えます。「学びのユニバーサルデザイン」や「2E教育」などの教育の新たな潮流との関係で多様性の問題を検討することも求められています。本大会では、多様性という新たな視野のもとで、発達、教育、学校などの問題や、それらの関係について検討することをテーマとして掲げることとしました。理論と発達支援や教育の現場での実践との往還の在り方について考える機会とするためのシンポジウムとセミナーを多数用意しています。基調講演は名誉大会委員長で、ロシアの心理学に造詣の深い國分充学長による「文化-歴史学派ヴィゴツキーの文化-歴史性-発達のグランド・セオリーの鑑賞学-」です。ヴィゴツキーは典型的でない発達をする子どもたちの教育の問題にも深く関わっていました。ヴィゴツキーの心理学のインパクトについて、発達の多様性という新たな視点のもとにあらためて考える機会になれば幸いです。Web大会ならではの新たなコミュニケーションの可能性も探りつつ準備してまいります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2021年8月

日本発達心理学会第33回大会委員会委員長  
藤野 博(東京学芸大学教授)

## 目次

1. 送付物一覧	p.2
2. 会期・会場	p.2
3. 実施内容	p.2-8
4. 大会参加の手続き	p.8-11
5. 大会に関する広報・諸連絡	p.12
6. 第33回大会および学会に関する連絡先	p.13

## 1. 送付物一覧 (今回お送りしたもの)

■「大会ご案内」(本通信：第1号通信)

※連絡事項があれば日本発達心理学会大会ヘルプデスクにご連絡ください。

→連絡先E-mail: [jsdp-desk@bunken.co.jp](mailto:jsdp-desk@bunken.co.jp)

※「郵便振替用紙」は同封していません(参加費等の支払いに関してはp.9を参照してください)。

※第2号通信は送付しません。原稿作成要領については大会Webサイトをご参照ください。

## 2. 会期・会場

■会期：2022年3月5日(土)～7日(月)

■会場：日本発達心理学会第33回大会Webサイト

<https://www.jsdp.jp/jsdp2022/>

今大会はWeb開催になります。大会Webサイトにご参集ください。

## 3. 実施内容

本大会では、全プログラムが昨年に続きWeb上で展開されます。対面で行われる大会の雰囲気をつくり、活発な研究交流の場の造成を目指します。

本大会の開催は、日本発達心理学会年次大会委員会(各種委員会企画等の編成など)と東京学芸大学大会委員会(大会運営など)による2つの委員会で進めていきます。

本大会の実施内容には、大会委員会を含めた本会各種委員会等が企画するものと、関連団体または会員が企画するものがあります。次に、それぞれの概要と発表形態、参加方法などについて説明します。

実際には、Zoom等の同時双方向的なやりとりが可能なツールを利用して動画・音声配信されるプログラムと、Webブラウザ等を利用してストリーミングもしくはダウンロードで動画・音声・静止画が配信されるプログラムがあります。詳細は大会Webサイトにお示しいたします。

1. 【全てのプログラムの参加】 全ての参加者(演者、聴衆)は、Zoomがインストールされインターネット接続された各々のパソコン・スマホ・タブレット等(以下これらを総称して「パソコン」と呼びます)を使って、各々の場所で、自由に当該プログラムに参加します。

2. **【講演・企画シンポジウム等】** Zoom ウェビナーにて、演者が講演を行い、演者以外の聴衆は各自のパソコンを使って当該プログラムに参加・視聴します。話題提供や指定討論の後の聴衆による質疑応答は、チャット機能などを活用して司会者が集約し、全体討論を行います。
3. **【自主企画シンポジウム・ラウンドテーブル等】** シンポジウム形式の発表で、国内外の演者が各々のパソコンを使って、各々の場所から話題提供や指定討論を行います。司会やファシリテーターなどの進行により、参加者（聴衆）も各自のパソコンから参加・視聴して、全体討論を行います。
4. **【研究発表】（昨年度までのポスター発表・口頭発表にあたるもの）** 研究発表では、Web ページ上にサムネイル（説明用のスライド1枚）を掲示していただきます。論文集の原稿にもリンクを貼ります。発表者は在席責任時間（60分程度）に、Zoom を使って、サムネイルや論文集原稿を見て訪れた参加者（聴衆）と個別に討論します。さらに本大会でも昨年と同様にフラッシュトークを導入します。フラッシュトークとは、発表者が発表内容の魅力をPRするために、Zoom の共有機能などを使って2分以内（厳守）でサムネイルのスライド1枚を提示し、口頭で発表するものです（2分を超えた場合は強制的に終了となる予定です）。2時間のセッションの冒頭30分程度を用い、セッションを構成する最大12名程が順番にプレゼンします。参加者（聴衆）に各研究発表への興味や関心を持ってもらい、自らの研究発表へ誘い、そこでの議論をより豊かにするものです。参加者（聴衆）にとっても、当該セッションの全研究の概要を知ることが可能となり、より深く理解したい面白い研究発表に訪れるきっかけを得ることができます。

座長の進行により、発表者は、[フラッシュトーク（2分）]→セッション内全員が終了後（30分程）→[発表者個人の部屋（ブレイクアウトルーム）にて討論（30分）]（聴衆は自由に各発表者の部屋を廻れる）→退室する。この際、発表者個人の部屋（ブレイクアウトルーム）では、例えばZoomの共有画面機能から、研究内容を発表者が発表用に作成した1枚のポスターとして掲示したり、スライドを何枚か提示して討論します。

※発表者個人の部屋（ブレイクアウトルーム）で使用するポスターやスライドなどの提出は必要ありません。

（★発表論文集の**原稿10/24提出**、サムネイル用のスライド1枚は**2022年1月31日迄**に提出です★）

これらのプログラムはいずれにおいても、参加者間の同時双方向的なやり取りを可能にするため、同時刻にWeb上に集まってインターネット接続され、各々のパソコンにインストールされたZoomを利用します。Zoomの管理運営（Zoomの設定は大会委員会がします）は、一部特別なプログラムを除き、原則として企画者や司会者、研究発表者が担います。これら各プログラムのより詳細な事項に関しては、大会Webサイトにお示します。

(<https://www.jsdp.jp/jsdp2022/>)。

### 3-1. 委員会および学会等が企画するもの

#### 【1】基調講演

今大会のテーマ「多様性の時代の発達・教育・学校について考える」を基として、企画いたしました。詳細は大会Webサイトおよび大会プログラムでご案内します。

◇講演者：國分 充（東京学芸大学学長）

演 題：文化-歴史学派ヴィゴツキーの文化-歴史性 —発達のグランド・セオリーの鑑賞学—

#### 【2】招待講演

本学会が相互協定しています英国心理学会（BPS）発達部門をはじめとする海外の研究者の招へいについて検討しております。詳細は大会Webサイトおよび大会プログラムでご案内します。

#### 【3】大会委員会企画シンポジウム，教育セミナー

以下のような内容で企画を検討しています。詳細は大会Webサイトおよび大会プログラムでご案内します。

- ① [大会委員会シンポジウム (120分)] 「発達と学びの多様性と学校」「インクルーシブ時代の発達支援を発達心理学から考える」
- ② [教育セミナー (60分)] 「乳幼児期の発達と保育・幼児教育」「自閉スペクトラム症」「アセスメント」「言語発達研究」「生涯発達とケア」「発達障害のある女性の支援」「特別支援教育とインクルーシブ教育システム」

#### 【4】学会委員会企画シンポジウム，関連学会・団体との共催シンポジウム，ラウンドテーブル

以下の企画を予定しています。その他，国際研究交流委員会企画シンポジウムを含め，いくつか検討中です。詳細は大会Webサイトおよび大会プログラムでご案内します。

◇各種委員会企画シンポジウム (120分) 他

- ① オルタナティブ・ストーリーとしての中動態（国内研究交流委員会）
- ② 「発達心理学における社会物質性アプローチの提案：混迷する時代において私たちはいかに新たな活動を創出できるのか？」（発達心理学研究編集委員会）
- ③ 出版企画委員会主催のシンポジウム
- ④ 国際研究交流委員会主催のシンポジウム
- ⑤ 事例を通して学ぶハラスメント防止（ハラスメント防止委員会）  
など

◇関連学会・団体との共催シンポジウム (120分) 他

- ① BPS共催ワークショップ
- ② ポストカンファレンス：「公認心理師における『教育・発達』的観点の意義と可能性—その3：自閉スペクトラム症理解と支援における「心の理論」の観点—」（「教育・発達」心理資格連絡協議会）
- ③ 日本質的心理学会・本会共催シンポジウム  
など

※大会委員会、各種委員会、学会の企画の場合は、企画費は徴収いたしません。ただし、日本発達心理学会の分科会や地区懇話会は関連団体となるため、企画費が必要です。

### 3-2. 関連団体または会員が企画するもの

■以下の表に示す4つの種類があります。詳細は表以降の文章をご覧ください。多様でたくさんのご企画、発表をお待ちしています。

	【1】 学会関連団体による 企画シンポジウム	【2】 自主シンポジウム	【3】 ラウンドテーブル	【4】 研究発表
1) 企画者	関連団体	会員	会員	会員
2) 発表形態	企画者が出演者を決め、研究発表や討論	企画者が出演者を決め、研究発表や討論	企画者と参加者が自由に討論	研究発表で討論
3) 発表時間	120分	120分	120分	・サムネイルの掲示 120分 在席 60分
4) 申込方法	Webサイトから規定の要領でお申し込みください			
5) 論文集割当頁	2ページ	2ページ	1ページ	1ページ
6) 企画費	5,000円	20,000円	20,000円	大会参加費に含む

#### 【1】日本発達心理学会関連団体による企画シンポジウム

- 1) 企画者 日本発達心理学会における分科会や地区懇話会、あるいは臨床発達心理士認定運営機構などの関連団体による企画を想定しています。ここには、本会および本会各種委員会による企画は含まれません。
- 2) 発表形態 下記の「【2】自主シンポジウム」と同様
- 3) 発表時間 120分
- 4) 申込方法 企画代表者が、Webサイトから、規定の要領で企画申し込みをしてください。
- 5) 論文集割当頁 大会論文集2ページ分。原稿作成要領はWebサイトをご参照ください。
- 6) 企画費 5,000円。企画代表者が参加費と共にお支払いください。
- 7) 企画・出演回数: 日本発達心理学会関連団体による企画シンポジウムを企画申込できる回数は団体毎に1回とさせていただきます。  
また、出演回数は自主シンポジウム、ラウンドテーブルと合わせて大会中1人3回までとさせていただきます。  
※企画者、司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーターなど、論文集原稿に名前が記載される場合には出演の形式を問わず、その企画への出演者とみなします。
- 8) 参加費納入 **会員・非会員にかかわらず、企画出演者は大会参加費の事前納入が必須です。**  
会員・非会員にかかわらず、出演する場合(司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーター等)、大会参加費は原則として大会期間前に支払う必要があります。  
※大会論文集原稿提出までに、企画費と出演者全員の大会参加費が納入されない場合には、企画として認められませんのでご注意ください。  
※同一の方が複数の発表・企画に出演される場合でも、p.11一覧表の注3)に記載のように、大会参加費は大会期間中有効ですので、1回のみ一人分支払うこととなります。

## 【2】 自主シンポジウム

- 1) 企画者: 会員
- 2) 発表形態: 企画者が出演者（司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーターなど）を決め、シンポジウム形式で研究発表や討論をするものです。  
※会場系のスタッフはつきません。企画者・司会者等、出演者ご自身で管理・運営・進行をお願いいたします。
- 3) 発表時間: 120分
- 4) 申込方法: 企画代表者が、Webサイトから、規定の要領で企画申し込みをしてください。  
※倫理的な問題等により開催が認められない場合があります。また、企画数が多い等の理由で開催ができない場合もあります。
- 5) 論文集割当頁: 大会論文集2ページ分。原稿作成要領はWebサイトをご参照ください。
- 6) 企画費: 20,000円。企画代表者が参加費と共にお支払いください。
- 7) 企画・出演回数: 自主シンポジウムを企画申込できる回数は1回とさせていただきます。  
また、出演回数は日本発達心理学会関連団体による企画シンポジウム、ラウンドテーブルと合わせて大会中1人3回までとさせていただきます。  
※企画者、司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーターなど、論文集原稿に名前が記載される場合には出演の形式を問わず、その企画への出演者とみなします。
- 8) 参加費納入 会員・非会員にかかわらず、企画出演者は大会参加費の事前納入が必須です。  
会員・非会員にかかわらず、出演する場合（司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーター等）、大会参加費は原則として大会期間前に支払う必要があります。  
※大会論文集原稿提出までに、企画費と出演者全員の大会参加費が納入されない場合には、企画として認められませんのでご注意ください。  
※同一の方が複数の発表・企画に出演される場合でも、p.11一覧表の注3)に記載のように、大会参加費は大会期間中有効ですので、1回のみ一人分支払うこととなります。

## 【3】 ラウンドテーブル

- 1) 企画者: 会員
- 2) 発表形態: 同じ問題意識を持った者同士の自由な議論が主体の企画です。  
企画者は参加者に話題を投げかけ、討論を促します。必要に応じて、話題提供者やファシリテーターを設定してもかまいません。  
※会場系のスタッフはつきません。企画者・司会者等、出演者ご自身で管理・運営・進行をお願いいたします。
- 3) 発表時間: 120分
- 4) 申込方法: 企画代表者が、Webサイトから、規定の要領で企画申し込みをしてください。  
※倫理的な問題等により開催が認められない場合があります。また、企画数が多い等の理由で開催ができない場合もあります。
- 5) 論文集割当頁: 大会論文集1ページ分。原稿作成要領はWebサイトをご参照ください。
- 6) 企画費: 20,000円。企画代表者が参加費と共にお支払いください。
- 7) 企画・出演回数: ラウンドテーブルを企画申込できる回数は1回とさせていただきます。  
また、出演回数は日本発達心理学会関連団体による企画シンポジウム、自主シンポジウムと合わせて大会中1人3回までとさせていただきます。  
※企画者、司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーターなど、論文集原稿に名前が記載される場合には出演の形式を問わず、その企画への出演者とみなします。

- 8) 参加費納入 会員・非会員にかかわらず、企画出演者は大会参加費の事前納入が必須です。  
会員・非会員にかかわらず、企画に出演する場合（司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーター等）、大会参加費は原則として大会期間前に支払う必要があります。  
※大会論文集原稿提出までに、企画費と出演者全員の大会参加費が納入されない場合には、企画として認められませんのでご注意ください。  
※同一の方が複数の発表・企画に出演される場合でも、大会参加費はp.11一覧表の注3)に記載のように大会期間中有効ですので1回のみ一人分支払うこととなります。

#### 【4】研究発表

研究発表セッションでは、サムネイル掲示を用いてフラッシュトーク（2分）をした後に、発表者と質問者がリアルタイムに口頭でやりとりして頂きます（30分程；発表者によっては、研究内容を1枚のポスターやスライドを何枚か提示して討論します）。発表者不在時にはメッセージを残せるシステムがあります。これらの詳細は、大会Webサイトをご参照ください。

#### 研究発表

- 1) 研究発表者： 責任発表者および筆頭者になれるのは会員のみです。連名発表者は非会員も可とします。
- 2) 発表形態： 個人または複数の人がサムネイル掲示を用いてフラッシュトーク（2分）と研究を発表するものです。事前に提出していただいたサムネイル（説明用のスライド1枚）を開始時刻までに掲示し、フラッシュトーク（2分）で簡潔に研究を紹介します。続いて、発表者個人の部屋（ブレイクアウトルーム）にて、発表者と質問者が個別に討論します（例えば、研究内容を1枚のポスターや数枚のスライドを提示してお話し下さい）。サムネイルはパワーポイントなどで作成してください。従来の大型一面ポスターを縮小したものや、簡潔な説明スライドをお作り頂き、それを参加者（聴衆）が拡大して閲覧できるようにします。連名発表者も大会に参加し発表することが期待されていますが、責任在席時間や大会参加の責任はありません。連名発表者は申込者と共同で研究した者に限ります。
- 3) 発表時間： サムネイルの掲示時間は120分、責任在席時間は決められた60分です。  
※「大会論文集への発表論文の掲載」「事前にサムネイルを提出する」「掲示時間内のサムネイル掲示」「フラッシュトークへの参加」「掲示場所での責任在席時間内の個別討論」の全てを行うことによって、公式発表と認められます。以上5つの要件について変更、不備・不足があった場合には、大会委員会は理事会と協議し、その取り扱いを決定し、学会誌広報欄で報告します。
- 4) 申込方法： 責任発表者が、Webサイトから、規定の要領で発表申し込みをしてください。  
※倫理的な問題等により開催が認められない場合があります。
- 5) 論文集割当頁： 「大会論文集」1ページ分。原稿作成要領はWebサイトをご参照ください。  
※責任発表者が参加申込費を期日までに納入しない場合には、論文集への掲載はできませんのでご注意ください。
- 6) 研究発表費： 大会参加費に含まれます。
- 7) 発表回数： 責任発表者となれるのは、大会期間中1回に限りです。ただし、連名発表者となる場合には回数の制限はありません。

- 8) 連番発表 複数名による研究グループが連番発表を行う場合も、責任発表者が各自 Web で入力を行い、規定の要領で発表申し込みをしてください。Webでの申し込みの際、「連番発表の希望」 チェックボックスにチェックを入れ、すべての連番発表筆頭者の会員番号と氏名を入力するようにしてください。また、論文集のタイトルも連番発表であることがわかるようにご留意ください。
- 9) 利益相反の申告 外部との経済的な利益関係等がある場合（一定の限度を超えた場合に限り）には、p.9の「【5】注意事項」をご覧ください、利益相反の申告をお願いします。

## 4. 大会参加の手続き

### ■はじめに

◇本大会では、大会参加の申込、発表・企画の申込、大会論文集原稿の投稿の〆切を同じ日に設定しました。**手続きの〆切および一覧表を、p.10に掲載しています。**

◇すべての手続きは大会 Web サイト (<https://www.jsdp.jp/jsdp2022/>) で行います。

※大会参加に関する問題やご質問がある場合は、日本発達心理学会大会ヘルプデスクにご相談ください。

→連絡先 E-mail: [jsdp-desk@bunken.co.jp](mailto:jsdp-desk@bunken.co.jp)

※なお、いずれの申込も、大会 Web サイトでの手続き後、「費用の納入」をもって完了します。

### 【1】大会参加の申込

◇大会に参加し発表や企画を行う会員は、まず「大会参加の申込」を行ってください。

◇〆切は、**2021年10月24日（日）17時**です。

※あらかじめ2021年度の年会費が納入されていることが必要です。年会費についてのお問い合わせは、会員管理事務局までご連絡ください。

→連絡先 E-mail: [jsdp-post@bunken.co.jp](mailto:jsdp-post@bunken.co.jp)

※参加の申し込みは、会員情報管理システムを用いて行われます。会員情報に変更や修正事項がある場合には、参加登録をする際、**事前にマイページにて各種情報の確認・訂正をお願いします**。大会に関する連絡をマイページのものとは別の住所に希望する場合には、会員情報は変更せず、大会参加申し込みの段階で連絡先を変更してください。この場合、会員情報は変更されません。

※発表や企画がなく大会参加のみの場合には、当日までクレジットカードにて大会参加の申し込みができます。ただし、10月24日17時以降は当日扱いになります。

※非会員についても、事前の大会参加申込が可能です。

### 【2】発表・企画の申込

◇「大会参加の申込」終了後、「発表・企画の申込」が可能です。

◇〆切は、**2021年10月24日（日）17時**です。

◇会員が行う発表・企画の形式は以下の4つです。

- ・関連団体による企画シンポジウム
- ・自主企画シンポジウム
- ・自主企画ラウンドテーブル
- ・研究発表



### 【3】大会論文集原稿の投稿

◇発表・企画の申込をした方は、大会論文集原稿を投稿してください。

◇〆切は、**2021年10月24日(日)17時**です。

※〆切までに投稿がない場合、発表・企画は取り消されますので、ご注意ください。

### 【4】費用の納入

◇費用はp.11の一覧表のとおりです。納入は、原則としてクレジットカードでお願いします。大会Webサイトの指示に従いお手続きください。郵便振替の場合**2021年10月24日(日)までの**期間限定で受け付けます。郵便振替はやむを得ない場合に限り（振込先は受付後の配信メールにお示し致します）。なお、10月24日を超えると、支払いに関してWeb上で郵便振替を選択することができません。

◇〆切は、基本的に**2021年10月24日(日)**です。

※〆切までに参加費・企画費の納入がない場合、発表・企画は取り消されますので、ご注意ください。

※大会参加のみ申し込みの場合も、上記の〆切を過ぎますと、参加費は「当日料金」となります。ですので、必ず10月24日(日)までに納入してください。

### 【5】注意事項：お読みください！

◇関連団体企画シンポジウム／自主企画シンポジウム・ラウンドテーブル：企画者の費用納入とともに、企画出演者である会員/非会員の全員が大会参加費を納入している必要があります。非会員の出演者についても、大会参加費を事前にお支払いください。加えて、企画費・大会参加費を納入していない場合、該当するプログラムを公式に開催することができません（企画として認められません）ので、ご注意下さい。

◇費用の返却：納入された費用は、事情の如何にかかわらず、原則として返却できません。あらかじめご了承ください。

◇学部生の発表：2022年3月卒業予定等の学部学生も発表者になることができます。ただし、発表申込前までに2021年度会費の納入を含めて学生会員の入会手続きを完了していることが必要です。

◇年会費の納入：いずれの発表・企画についても、2022年度会費を発表当日までに納入していることが必要です。2022年3月卒業予定等の学部学生が発表者になる場合も同様です。（定款では、翌年の会費を12月末日までに支払うことになっています。）

◇利益相反の申告：2019年3月16日に行われた社員総会で「利益相反に関する指針」が承認されました。利益相反（Conflict of Interest：COI）とは、外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態をいいます。「経済的利益関係」とは、研究者が、自分が所属し研究する機関以外の機関との間で給与等を受け取る等の関係を持つことです。

発表者には本会が定めた「利益相反（COI）に関する指針」に基づき（一定の限度を超えた利益相反がある場合に限り）、研究に関わる利益相反の申告を行うことが求められています。該当者が行う具体的手続きの詳細については、後日大会Webサイトにてお知らせします。

## 【6】大会論文集CD-ROMの事前予約購入

◇大会論文集CD-ROMの事前予約の代金は 会員 4,000 円（送料含む）、機関購読 5,000 円（送料含む）です。

※大会参加費を納入される方には、大会前に大会プログラムと一緒に1枚送付されますので、それ以外に必要な枚数を参加登録時に併せてご予約ください。

◇プレス枚数は予約購入数により決定しますので、機関購読をご希望の場合、事前予約をおすすめします。

◇**2021年10月24日（日）**までに、下記の事項を日本発達心理学会ヘルプデスクにお送りください。






➡連絡先E-mail : [jsdp-desk@bunken.co.jp](mailto:jsdp-desk@bunken.co.jp)

- ・機関名（領収書の宛先名義）
- ・担当者
- ・連絡先
- ・部数
- ・その他（見積書、納品書、請求書が必要な場合は、その旨を明記してください。）

## 【7】個人情報の取り扱いについて

本大会の申込や問い合わせにより得られた個人情報は、個人情報保護法に基づき、諸連絡、支払いの確認といった本大会運営上必要な業務にのみ使用し、それ以外には使用いたしません。

### ■各手続きの〆切

		2021年9月	
事前参加申込	開始		10月24日（日）17時 〆切
すべての発表・企画申込 (関連団体企画・自主シンポジウム・ ラウンドテーブル・研究発表)	開始		10月24日（日）17時 〆切
すべての発表・企画の論文集原稿投稿	開始		10月24日（日）17時 〆切
事前参加費・企画費納入	開始		10月24日（日）17時 〆切
大会論文集追加購入費等納入	開始		10月24日（日）17時 〆切

■大会参加の諸費用一覧（税込、ただし会員参加費・企画費は不課税。）

費用	対象	事前	当日 <sup>1)</sup>	備考	
大会参加費  (大会論文集CD-ROMの代金を含みます。ただし、非会員の学部生を除く。)	一般会員	大会参加のみ	12,000円	13,000円 <sup>3)</sup>	
		大会参加・発表 非会員連名者なし	12,000円	—	
		大会参加・発表 非会員連名者あり	12,000円	—	非会員連名費は不要。非会員連名者の有無で参加費は変わりません <sup>1)</sup>
	学生会員 <sup>6)</sup>	大会参加のみ	9,000円	10,000円 <sup>3)</sup>	
		大会参加・発表 非会員連名者なし	9,000円	—	
		大会参加・発表 非会員連名者あり	9,000円	—	非会員連名費は不要。非会員連名者の有無で参加費は変わりません <sup>1)</sup>
	非会員	一般・大学院生	14,000円	15,000円	2) 3)
		学部生 <sup>4)</sup>	1,000円	2,000円	2) 3)
関連団体シンポジウム企画費	企画申込者	5,000円	—	企画申込者が支払います。	
自主シンポジウム・ラウンドテーブル企画費	企画申込者	20,000円	—	企画申込者が支払います。	
大会論文集CD-ROM	<u>追加購入</u> 希望者 <sup>5)</sup>	4,000円	5,000円	CD-ROMのみ。大会参加費納入者には大会前に1枚送付されます。	
大会プログラム	<u>追加購入</u> 希望者	1,000円	1,000円	会員には大会前に1冊送付されます。追加購入される場合の金額です。	
懇親会費	一般会員	—	—		
	学生会員	—	—		
	非会員	—	—		

※※注意※※

- 1) 当日受付：発表・企画の申込をしておらず、事前の参加申込をしていない方でも、当日、Web上で大会参加費を支払うことで参加できます。
- 2) 非会員に関わる費用：非会員が「大会に参加する場合」は、連名発表やシンポジウム／ラウンドテーブルでの出演の有無にかかわらず、大会参加費をお支払いください。
- 3) 当日受付の大会参加費は、支払われた日だけではなく、大会期間中（3日間）の参加費となります。
- 4) 学部生の大会参加費には、大会論文集CD-ROMの代金は含まれていません。
- 5) 機関購読は事前販売でも5,000円（税込）となります。
- 6) 日本発達心理学会における学生会員は学部学生・大学院生・研究生です。

## 5. 大会に関する広報・諸連絡

### 【1】 これからの諸連絡

- ◇2号通信は、送付しません。
- ◇今後の諸連絡は、すべて大会 Web サイト (<https://www.jsdp.jp/jsdp2022/>) にてお知らせいたします。
- ◇諸費用の納入は、原則として大会 Web サイトからクレジット決済にてお願いします。  
例外としてやむを得ない場合に限り「郵便振替」のご利用は可能ですが、2021年10月24日（日）までしか利用はできません。ご注意ください。なお振込先は、参加申込の完了時に配信されるメールに記載いたします。

### 【2】 日本発達心理学会・会費の納入

- ◇第33回大会で研究発表をする場合には、2021年度の会費を参加申込の前までに、2022年度会費を発表当日までに納入してください。両方を納入していない場合には、大会での発表や出演の権利を失うことがあります。
- ◇会費については、日本発達心理学会会員管理事務局にお問い合わせください。  
→連絡先 E-mail: [jsdp-post@bunken.co.jp](mailto:jsdp-post@bunken.co.jp)

### 【3】 日本発達心理学会への入会

- ◇日本発達心理学会に入会していない方が会員（一般会員／学生会員）として研究発表を行うためには、参加申込の前までに2021年度会費の納入を含めて日本発達心理学会への入会手続きを完了していることが必要です。入会申込後、入会承認手続きが行われます。
- ◇入会申込 URL は、<https://www.jsdp.jp/contents/base/nyukai.html> です。
- ◇入会手続きについては、日本発達心理学会会員管理事務局にお問い合わせください。  
→連絡先 E-mail : [jsdp-post@bunken.co.jp](mailto:jsdp-post@bunken.co.jp)

### 【4】 その他

#### (1) 会務報告会、学会賞 授与式

- ◇会務報告会および各賞の授与式を行います。
- ◇大会2日目：3月6日（日）を予定しています。
- ◇詳細は大会 Web サイトおよび大会プログラムにてご案内いたします。

#### (2) 懇親会

- ◇日時：大会2日目3月6日（日）18時30分～
- ◇会費：不要
- ◇どのような形で開催できるか、検討中です。申込方法なども含め、詳細は大会 Web サイトおよび大会プログラムにてご案内いたします。

#### (3) 書籍および機器の展示

- ◇大会期間中に、会場となる Web 上において書籍や機器の展示を行います。詳細は大会 Web サイトをご参照ください。

## 6. 第33回大会および学会に関する連絡先

---

### 【1】大会総合窓口

◇会場や大会全般に関する質問は、E-mailで大会総合窓口にお問い合わせください。

一般社団法人日本発達心理学会第33回大会総合窓口

E-mail: meeting2022@jsdp.jp

第33回大会 Web サイト : <https://www.jsdp.jp/jsdp2022/>

### 【2】日本発達心理学会大会ヘルプデスク

◇大会参加・発表申込、参加費納入に関する質問は、E-mailで下記にお問い合わせください。

一般社団法人日本発達心理学会大会ヘルプデスク

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター (株)国際文献社内

E-mail: jsdp-desk@bunken.co.jp

### 【3】日本発達心理学会会員管理事務局

◇日本発達心理学会への入会、年会費納入状況、会員情報に関する質問は、E-mailで下記にお問い合わせください。

一般社団法人日本発達心理学会会員管理事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター (株)国際文献社内

E-mail : jsdp-post@bunken.co.jp

TEL : 03-6824-9394

受付時間 : 平日9時～12時, 13時～17時

### 【4】日本発達心理学会事務局

一般社団法人日本発達心理学会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-5 平清ビル401

E-mail : office@jsdp.jp

FAX : 03-5840-9338

学会 Web サイト : <https://www.jsdp.jp/>